

段戸^{SAN}の取組み について

愛知森林管理事務所が管理する段戸国有林は、約5,300haの面積を有し、その約90%が人工林で、植林樹種は、ヒノキが78%を占めています。



段戸国有林 79い林小班

人工林の齢級分布は、若齢林から高齢林まで比較的バランスがとれており、その中には100年生以上の林分が10%あり、最も古いものは明治26年(1893年)に植林されています。

現在、当所では段戸国有林から産出される**林齢100年**を超える素材販売の際に、**段戸^{SAN}**と表示しています。

段戸^{SAN}の「SAN」には、**段戸山、段戸産**及び愛称としての「**さん**」という意味を込めています。また、のぼりのキャラクター「**段戸さん**」は、その昔、段戸地域の木材を利用し、ろくろを回し、お椀やお盆を作っていたと言い伝えられている**木地師**をイメージしています。



木材の利用促進や地域における県産木材利用が求められている今日、是非愛知県北設楽郡設楽町に所在する段戸国有林の**段戸^{SAN}**をお買い求め頂きますよう、よろしくお願ひ致します。



林野庁 中部森林管理局 愛知森林管理事務所

[平成31年4月1日現在]

段戸 SAN 販売状況



(株)東海木材相互市場にて